



多文化関係学会 第16回年次大会プログラム

Japan Society for Multicultural Relations Program for the 16th National Convention

大会テーマ
多文化共生社会への道——記憶・課題・展望——

The Path toward Multicultural Society: Memories, Agendas, and Prospects

2017年9月9日（土）・10日（日）
September 9 & 10, 2017

会場
藤女子大学 北16条キャンパス（北海道札幌市）

プレカンファレンス
Preconference

大会前日 9月8日（金）
September 8, 2017

会場
北海道博物館



9月8日（金） 大会前日

プレカンファレンス

北海道における民族交流と多様性、その原点を探る

13:15 集合場所 北海道博物館玄関前（北海道札幌市厚別区厚別町小野幌53-2）

地下鉄新さっぽろ駅・JR新札幌駅バスターミナル のりば10(北レーン)にて、ジェイ・アール北海道バス新22「開拓の村行き」に乗りし、北海道博物館前で下車してください。所要時間は約15分です。

<http://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp/>

13:30～14:00 学芸員によるレクチャー

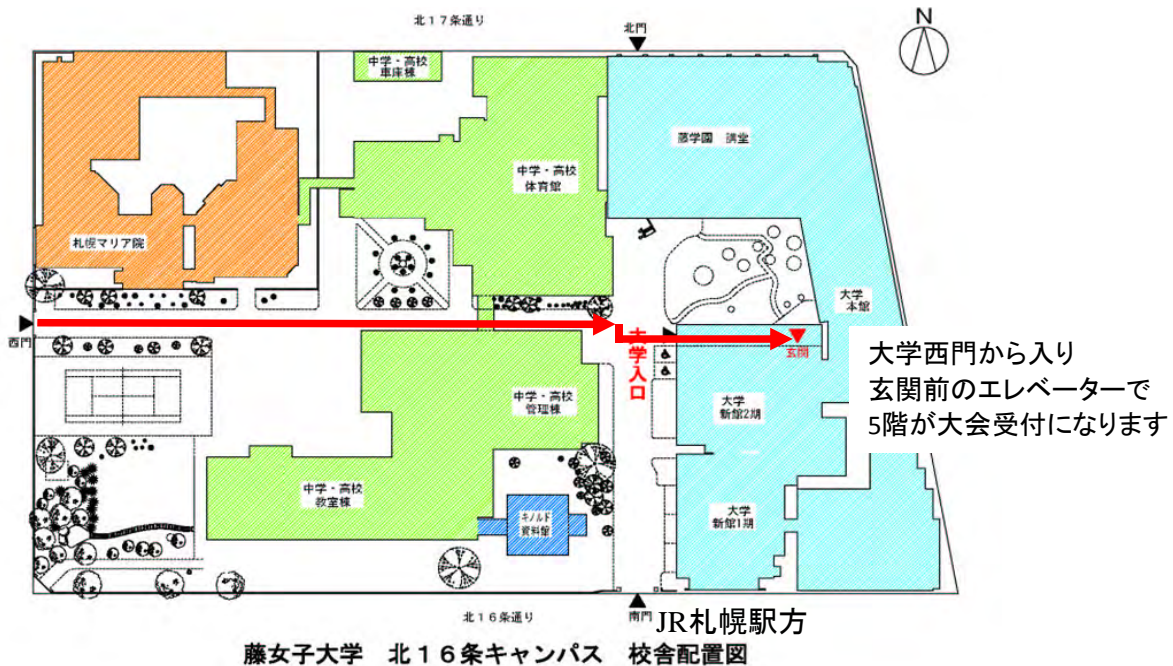
14:00～ 各自館内見学 現地解散

「北海道博物館」は、開拓記念館とアイヌ民族文化研究センターが統合されて2015年に開館した総合博物館です。プレカンファレンスでは、北海道における多文化共生を視野に、アイヌの歴史・文化に関する専門家のレクチャーと施設見学を行います。

*博物館から徒歩15分ほどのところにある開拓の村をご覧になりたい方は、博物館を見学された後に出かけられても結構ですが、時間が不足する可能性があります。午前中に行かれることをお勧めします。丁寧にまわると2時間程度かかります。

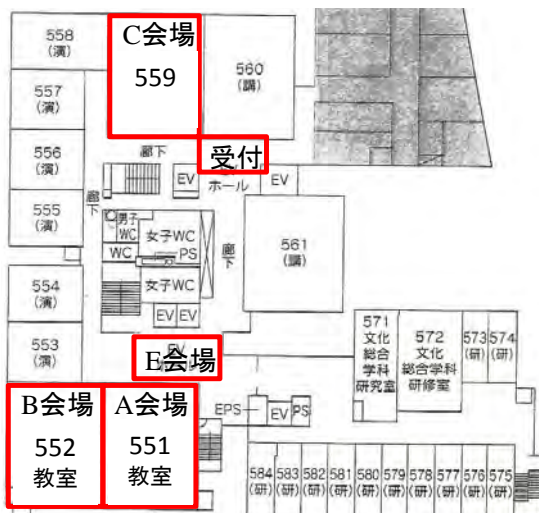
コーディネーター: 伊藤 明美(藤女子大学)

藤女子大学校内図 <https://www.fujijoshi.ac.jp/guide/access/>

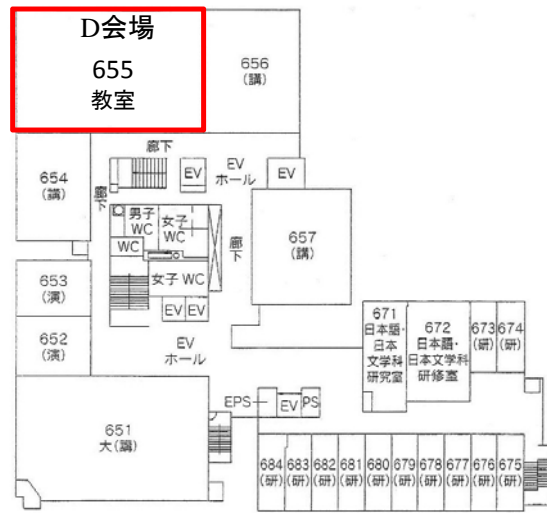


大会内会場案内図

5階



6階



9月9日（土） 大会初日

9:30 ~ 10:00 受付(5階 エレベータホール前)

10:00 ~ 11:05 研究発表1

A会場（551教室） 司会: 笠原 正秀（椋山女学園大学）

外国人児童生徒の教育を受ける権利に関する日米比較
——アメリカ合衆国内外国人児童生徒の教育に関する訴訟事件を事例に——
奴久妻 駿介（一橋大学大学院）・田中 真奈美（東京未来大学）・
馬場 智子（岩手大学）・吉田 直子（東京大学大学院）

サンフランシスコ・日系人の異文化適応の課題——ある長期滞在の日本人男性の語りから——
田中 真奈美（東京未来大学）

B会場（552教室） 司会: 松田 陽子（兵庫県立大学）

ゼロ初級の「生活者としての外国人」のための地域日本語教育——アンケート調査の結果から——
陳 帥（九州大学）

日本の公立学校におけるフィリピン語の母語・継承語教育の意義と課題
——公立高等学校でフィリピン語を学ぶ生徒たちの事例から——
矢元 貴美（上智大学アジア文化研究所）

11:05 ~ 11:15 休憩

11:15 ~ 12:20 研究発表2

A会場（551教室） 司会: 久保田 真弓（関西大学）

国内で活動する多文化研究チームにおける日本人リーダーの認知的複雑性とその動態
——修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチによるモデルの構築——
石黒 武人（順天堂大学）

「利己的協調主義」とは何か——日本人集団主義説の再検討——
古家 聡（武蔵野大学）

B会場（552教室） 司会: 長谷川 典子（北星学園大学）

十勝地方出身青年アイヌから見た親子世代間のアイヌとしてのアイデンティティー変容
Tshelnik Tatsiana (Hokkaido University)

戦勝記念碑を巡る集合的記憶——イタリア・ボルツァーノを事例に——
大澤 麻里子（東京大学）

C会場（559教室） 司会: 守崎 誠一（関西大学）

中国人大学生が日本に留学する意識と動機の考察
——ナショナルアイデンティティの視点から——
童 哲慧（青山学院大学大学院）

異文化理解能力尺度作成の試み——韓国人の行動様式に対する知識の測定について——
申 知元（青山学院大学大学院）

12:20 ~ 13:30 昼食休憩

学内の食堂は営業していません。
食堂2階には飲み物等の自販機があり、休憩場所としてお使いいただくことができます。
お弁当を予約されない方は、コンビニ等で購入または大学近辺の食堂をご利用ください。
*お弁当代金については、できるだけ事前払いの際に合算でお振込ください。
ただし、8月5日(土)以降もお弁当代については振込を受付いたします。
お振込が出来ない場合、8月31日（木）までにお弁当の注文をWEB登録していただき、
当日現金でお支払いください。

9月9日(土) 大会初日

13:30 ~ 15:00 **基調講演** D会場(655教室)

テーマ: **北方世界の多文化的状況**
——近代前夜のアイヌ民族と近隣諸民族との交流——

講演者: **佐々木 史郎**(国立アイヌ民族博物館設立準備室主幹)

コーディネーター: 御手洗 昭治(札幌大学)

必要なものは積極的に取り入れるというような姿勢をとっていた近世の蝦夷地(北海道、樺太、千島)におけるアイヌの人々を中心とした文化交流の歴史。そして、「同化」に軸足を置いた明治時代以後の先住民族統治政策。「多文化共生」という概念を時間軸に沿って相対化していきます。

主要著書:

2015 『シベリアで生命の暖かさを感じる』(フィールドワーク選書13) 京都:臨川書店

1999 『モンゴロイド系諸民族の初期映像資料—シベリア・北海道・樺太篇—』

日文研叢書20 国際日本文化研究センター (赤沢威との共著)

1996 『北方から来た交易民—絹と毛皮とサンタン人—』日本放送出版協会
(NHKブックスNo.772)

15:00 ~ 15:15 休憩

15:15 ~ 16:45 **パネル・ディスカッション** D会場(655教室)

テーマ: **東アジアの多文化関係**
——負の相互イメージからの脱却は可能か——

パネリスト: **山谷 賢量**(元北海道新聞社)

パネリスト: **呉 小莉**(城西国際大学)

パネリスト: **李 鳳**(北海商科大学)

コーディネーター: 久米 昭元(元立教大学)

地理的に近接した隣国同士であり、長い多文化交流の歴史を有している東アジア各国は、現在、対立や摩擦が深刻化しており、一触即発の緊張をはらんだ地域となっています。当ラウンドテーブル・ディスカッションでは、ロシア、韓国、中国各国と日本を往来しつつも、活躍のベースを日本に置いている方々に自身の異文化生活体験と専門領域を通して日本を取り巻く東アジアの良好な多文化関係に向けての具体的手掛かりを提言していただきます。

16:45 ~ 17:30 **ポスターセッション** E会場(エレベーターホール)

地域日本語教室の日本語学習者の発話におけるコミュニケーション・ストラテジー
安 芝恩(九州大学大学院)

サンフランシスコ市におけるジェントリフィケーションとラティノー壁画
飯島 力(九州大学)

カサンドラ愛情はく奪症候群を取り巻く環境——SNSでのやり取りからみえてくるもの——
西 由香利(自助グループ「にじいろ」)

ブラジル留学における困難体験とその対処——社会環境と対人環境に注目して——
迫 こゆり(岡山大学大学院)・田中 共子(岡山大学)

17:30 ~ 17:40 移動

17:40 ~ 18:10 **アイヌパフォーマンス** (会場:マリアホール【食堂隣】)

18:10 ~ 20:00 **懇親会** (会場:マリアホール【食堂隣】)

9月10日（日） 大会第2日目

9:30 ~ 10:35 研究発表3

A会場（551教室） **英語プレゼンテーションワークショップ**

コーディネーター: 小坂 貴志(神田外語大学)

コメンテーター: **Oliver Chris** (Sophia University Junior College Division)

コメンテーター: 出口 真紀子(上智大学)

Gentrification in San Francisco's Mission District and Latino Murals
飯島 力(九州大学)

Regional Japanese education for the beginner learners of foreigners as residents in Japan:
From the results of the questionnaire survey
陳 帥 (九州大学)

The Communication Strategies of Japanese Language Learners in Regional Japanese Classes
安 芝恩(九州大学大学院)

趣旨

2015年度、2016年度大会に引き続き、大学院生や若手研究者を対象とした英語でミニ発表に慣れていただくための教育企画を実施します。

海外の研究者と活発な交流を齎るために、日本を拠点とする多文化関係学会の研究者の声を英語で届ける一步を踏み出しませんか。

詳細内容

多文化関係学にふさわしい内容のミニ発表(英語)をしてもらいます。

発表者は、パワーポイントやハンドアウトを用意し、8~10分程度の研究発表をした後、フロアと質疑応答をおこない、その後、コーディネーターからコメントやアドバイスを受けます。最後に総括とディスカッションの時間を設けます。

B会場（552教室） 司会: 抱井 尚子(青山学院大学)

演劇創作プロセスにおける人的ネットワーク構築に関する考察——ネットワーク構築要因を中心に——
中野 遼子(大阪大学国際教育交流センター)

文化の多様性を認識させる「日本事情」科目の試みとその評価——留学生の語りにもとづく質的分析——
藤 美帆(広島修道大学)

C会場（559教室） 司会: 灘光 洋子(立教大学)

文化背景によるコミュニケーションの齟齬の相違点
——英語ALT・中国語ALT及び日本人教師の事例分析——

趙 師哲(愛知淑徳大学)

Semester留学のアウトカム——効果的留学プログラムの構築にむけて——
伊藤 明美(藤女子大学)

10:35 ~ 10:50 休憩

10:50 ~ 11:55 研究発表4

A会場 (551教室) **ラウンドテーブルディスカッション**

タイトル: 日ロ交流の今と未来に、日本語教育は何ができるのか

発表者1: 竹口 智之 (関西大学)

発表者2: 金武 雅美 (立命館アジア太平洋大学)

発表者3: 門井 美奈子 (早稲田大学大学院)

ファシリテーター: 松井 一美 (早稲田大学)

B会場 (552教室) 司会: 小松 照幸 (元名古屋学院大学)

ドイツにおける「記憶の道具化」を巡る一考察——「ヴァルザー・ブービス論争」を事例として——
千葉 美千子 (元北海道大学大学院博士課程院生)

* ご発表キャンセルのためB会場は1発表のみとなります。

C会場 (559教室) 司会: 田崎 勝也 (青山学院大学)

「日本で働くこと」に対する意味づけの変化——中国人女性の元留学生を事例に——
叶 尤奇 (椋山女学園大学)・根橋 玲子 (明治大学)

留学生は日本での就職活動にどのような問題を抱え、適応しているのか
守崎 誠一 (関西大学)・内藤 伊都子 (東京福祉大学)

大会第2日目

11:55 ~ 12:00 移動

12:00 ~ 13:00 **ランチ総会・2016年度石井奨励賞受賞者挨拶** D会場 (655教室)

* お弁当代金については、できるだけ事前払いの際に合算でお振込ください。

ただし、8月5日(土)以降もお弁当代については振込を受付いたします。

お振込が出来ない場合、8月31日(木)までにお弁当の注文をWEB登録していただき、
当日現金でお支払いください。

13:00 ~ 14:30 **学際シンポジウム** D会場 (655教室)

テーマ: **多文化共生社会の実現に向けて——実践から導かれる理論——**

シンポジスト: **パイチャゼ・スヴェトラーナ** (北海道大学)

シンポジスト: **佐藤 千恵子** (市立札幌大通高等学校)

シンポジスト: **伊井 義人** (藤女子大学)

コーディネーター: 千葉 美千子 (元北海道大学大学院博士課程院生)

内容

シンポジウムでは、札幌市が抱える「多文化共生」の問題群を多文化教育の理論と教育現場の実践から辿ります。

- (1) サハリン帰国者の子どもたちの課題解決に向けた取り組み
- (2) 多文化教育の課題と展望
- (3) (1)・(2)を踏まえたフロアとの議論

14:30 **閉会の挨拶** 第16回大会準備委員長 **伊藤 明美** (藤女子大学)

《ご案内》

・当日受付分の大会参加費(正会員・シニア会員 7,000 円、学生会員 3,000 円、非会員 9,000 円、非会員学生 5,000 円)、および懇親会費(正会員・シニア会員 6,000 円、学生会員 4,000 円、非会員 7,000 円、非会員学生 5,000 円)は、受付でお支払い下さい。

当日受付の場合でも、8月25日(金)までに、大会Webページから参加登録をお願いします。

・教室発表の方々は、当日配布の抄録集以外に追加資料があれば、コピーを40部ご持参下さい。パワーポイント、映像等の操作確認は教室係にお申し出の上、事前をお願いします。

・ポスターセッションの方々は大会初日13時半までにE会場にて、A1またはA0縦ポスターをご掲示下さい。

ご宿泊 アパホテル〈札幌すすきの駅前〉

アパホテル〈札幌すすきの駅前〉

シングル・朝食付 (税込¥9,000)

すすきのには4つのアパホテルがあります。アパホテル〈札幌すすきの駅前〉以外に、アパホテル〈札幌すすきの駅南〉、アパホテル〈札幌すすきの駅西〉、アパホテル〈札幌〉とありますのでご注意ください。サイト内の地図をご確認下さい。

連絡先・ご担当者

011-511-4111 担当:末武 雅美(すえたけ まさみ)支配人

住所

札幌市中央区南4条西2丁目2-5

注意事項

・ネット予約は、通常価格になりますので、必ず電話にてお申し込みください。

・予約の際には、電話(011-511-4111)予約にて、末武 雅美(すえたけ まさみ)支配人をお願いし、末武支配人が不在の場合は、多文化関係学会会員であることを告げ、朝食付き9,000円の部屋を予約したいと申し出て下さい。

第16回多文化関係学会年次大会準備委員会

〒001-0016 北海道札幌市北区北16条西2丁目 藤女子大学 伊藤 明美研究室

メールアドレス: jsmr2017taikai@gmail.com (<at>を半角の@に変更してください。)

大会Webページ: <http://yasunarikono.com/jsmr2017/>

大会準備委員長

伊藤 明美(藤女子大学)

大会準備委員

新井 良夫(藤女子大学)、石黒 武人(順天堂大学)、久米 昭元(元立教大学)、
河野 康成(立教大学リーダーシップ研究所)、千葉 美千子(元北海道大学大学院博士課程院生)、
長谷川 典子(北星学園大学)、御手洗 昭治(札幌大学)

多文化関係学会事務局

〒120-0023 東京都足立区千住曙町34-12 東京未来大学 モチベーション行動科学部 田中 真奈美研究室内

メールアドレス: admin@js-mr.org (<at>を半角の@に変更してください。)

学会ホームページ: <http://www.js-mr.org/>



藤女子大への行き方の目安

- ・改札を出たら、左手に見えるエレベーターを利用して地上に出てください。
 - ・エレベーターを出ますと、道路向かい側右手方向にセブンイレブンがあります。
 - ・大学は、地図の矢印にしたがって5分ほど歩いたところにあります。
 - ・西門からおはいきください。
- *ただし、JR札幌駅、あるいはススキノからタクシーでいらっしゃる方々は、南門から入ることになります。

交通案内

地下鉄：南北線「北18条駅」下車、徒歩5分

| | |
|-----|----------------------|
| 発行 | 2017年7月 |
| 発行者 | 多文化関係学会 |
| 発行所 | 第16回多文化関係学会年次大会準備委員会 |